

あかるいまち 21

No.1486 2022年2月 25日
組合員活動推進課 082-532-1264

	2月	2021年度
組合員ふやし	79人	1284人
出資金ふやし	2571万円	14302万円
純増	32万円	554万円

広島中央保健生協 次年度方針討論集会を開催



2月21日に組合員活動協議会の時間を活用し、組合員理事と本部役員および事業所事務長会議メンバーなど総勢29名で、広島中央保健生協の「次年度方針討論集会」を開催しました。コロナ感染第6波が収まらず「まん延防止等重点措置適用」期間が延長となってしまったため、オンラインでの開催となりました。

集会では最初に医療福祉生協連の片山専務による「2021年度活動のふりかえりと2022年度の重点課題(案)」のDVDの視聴を行い、続いて起草委員会から

の次年度重点課題(案)の提案を受けた上で、5名ずつのグループ討議を行いました。

当生協内のオンラインでの集まりでは初めての「ブレイクアウトルーム」(ZOOMミーティングでの少人数グループ分け機能)体験となりましたが、大変活発な意見交換ができ、満足度が高かったようでした。理事用タブレットを導入して1年、IT機器を活用しての「新しいつながり方」に一步步習熟度が上がってきています。

医福連の動画視聴では、全国の事業所と地域支部での取り組みが大変参考になったとの感想が、どのグループからも出されました。さいたま医療生協では参加者には集合場所のみが知らされ行先が内緒の「ミステリーウォーキング」が行われ、愛知県北医療生協では健診受診者を増やすために組合員さんが自転車のカゴに「そうだ、健診に行こう」と大きなシートを張り付けた「健診りんりんレディーズ」が取り組まれているそうです。



次年度重点課題(案)の討議でも、サロンを多世代に広げて困っている人にもつながるよう

な活動を進めたい、ヤングケアラー問題や学習支援に取り組みたいなど、豊かな意見が次々と出されていました。コロナ禍でつながりの大切さを実感した今こそ、生協のつながりを広げたいと共有できる方針討論集会となりました。ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。

